

輸出事業計画

※申請者名：JAL Agriport株式会社、品目：いちご

1. 輸出における現状と課題

【現状】

弊社では、2022年度から自社産いちごの輸出に取り組んでいる。千葉県は成田国際空港や空港に隣接する輸出に強みのある成田市公設卸売市場を有している。いちごは、航空貨物での輸出がメインとなることから、成田国際空港に近接した立地を活かし、フードマイルの削減などにも対処すべく、今後の需要が見込まれる海外市場をターゲットとし、自社産のみならず、千葉県産いちごの輸出に対する取り組みを開始している。

【課題】

- 【生産】 仕入量の確保(航空運賃低減のため)、輸出用資材の統一、品質面での指標策定(JGAP認証取得)
- 【物流】 (国内) 成田市場までの地上輸送の確保、(海外) コールドチェーンの構築
- 【販売】 海外販路開拓、千葉県産いちごの差別化

2. 輸出事業計画の取組内容

- 【生産】 仕入量を確保するための産地形成、資材統一に向けた運用方法の検討、JGAP認証取得に向けた取り組み
- 【物流】 (国内) 市場経由便などの開拓
(海外) クールチェーンを構築できるフォワーダーとの連携
- 【販売】 各国のマーケットの特徴を捉えた効果的な販売プロモーションの実施

- 千葉県
- 県内地域農協
- いちご組合・部会
- 県農林総合研究センター

産地形成

輸出者

JAL Agriport(株)

- ・産地取りまとめ
- ・JGAP導入取り組み
- ・調査内容マッチング

- JETRO千葉
- 輸出連携企業
- JALグループ各社
- 日本航空海外支店

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

		現状（令和5年度）	目標年（令和8年度）
JAL Agriport株式会社	輸出額(円)	0円	15,000,000円
	輸出量(t)	0.04t（サンプルのみ）	10t
	輸出国	マレーシア・アメリカ	タイ・シンガポール・マレーシア・アメリカ・カタール
	取扱量(t)	18t	50t